

上下水道のエリア管理提案

小松電機産業

多機能端末やグーグル活用

「やくも水神」の新製品を開発

小松電機産業(本社・松江市、小松組代表取締役)は、上下水道設備管理システム「やくも水神」の新製品を開発、発表した。本管理をiPad(アイパッド)やiPhone(アイフォン)など多機能携帯端末、地図画面をGoogle(グーグル)マップやグーグルシステムで、製品名は「やくも水神Gシリーズ」。四機種の採用した管理システムは全国初めてで、下水道局10を古く7月27日、名古屋市にも出展予定で、大きな注目を集めそうだ。

同社は2000年9月、上下水道設備管理システム「やくも水神」を発表。パソコンや携帯電話を用いて、上下水道施設を監視・管理でき、合併に伴う施設管理の広域化、維持費の削減などに貢献している。納入実績

は国内38都府県190自治体で、約4600施設となつている(6月末日現在)。

「やくも水神Gシリーズ」は、iPad(アイパッド)やiPhone(アイフォン)など、近年の携帯端末の多機能化により、パソコンと同性能による現場管理が容易になったことなどに対応。

また、グーグルマップを活用し、エリア内にある全ての上下水道施設

を、1つの地図上で管理できるようにした。製品の開発に先立ち、昨年12月には、従来の「やくも水神」の多目的管理端末も開発し、災害時対応など管理システム全体の機能も強化している。

一方、同社では「やくも水神Gシリーズ」を用いて、水道局下水道、農業用水排水施設などの水関連施設を、エリアで一括管理することを調査中。本行政に提案をもたらし、画期的なシステムと

して、3年後には全国の自治体での導入普及を目標とし、営業展開するとしている。

29日の記者発表(同社本社会議室)で、小松代表取締役は「やくも水神Gシリーズ」で、新たな施設管理が実現と強調。映像による製品紹介や管理システムの概要説明とともに、松江市内のマンホールポンプなどを、テ

ム機の実演が行われた。同社は1973年3月に創立。「やくも水神」管

理システムは、NATD(コソのFOMA)、「プロダクティング」のRuby(ルビー)を用いたシステム構築。東部の拠点体制(東京都・松江市)での進出など、信頼性の高いサービスを提供してきた。

中央監視装置が不要で、上下水道施設をはじめ、水源地、水門、浄水場施設などもリアルタイムで監視でき、異常時は警報メールが送信される仕組みとなつている。

中央監視装置が不要で、上下水道施設をはじめ、水源地、水門、浄水場施設などもリアルタイムで監視でき、異常時は警報メールが送信される仕組みとなつている。



小松代表取締役



管理システムの概要を説明



松江市内のマンホールポンプでデモ